



ごみ計量機
収集されたごみを入場時に自動的に計量・記録し、集中管理します。



プラットホーム
ごみ収集車等で集められたごみをごみピットへ投入する場所で、投入扉が3箇所あります。



ごみピット
収集されたごみを貯留し、攪拌、均一化する設備です。



給じん装置
二軸スクリーンで構成され、ごみを連続して定量的に直接焼却炉に供給します。



焼却炉
焼却炉は全連続燃焼式流動床炉を採用しています。147t/日(73.5t×2炉)の焼却能力があり、焼却炉出口付近で850℃以上となるため、ごみを完全燃焼させることができます。焼却炉内には窒素酸化物を除去するための薬剤を吹き込んでいます。



ガス冷却室
焼却炉の高温の排ガスを冷却水噴霧によって冷却する設備です。冷却水は工場内から発生する汚水を薬剤処理したうえで再利用しています。



減温用空気加熱器
ガス冷却室を通過した排ガスをさらに冷却する設備です。2,508本の伝熱管に工場内の空気を通すことにより熱交換し排ガス冷却を行います。



集じん装置
排ガス中の灰や有害物質を取り除くための設備です。390本のろ布と呼ばれるフィルタが装置内に設置されています。入口で薬剤を吹き込むことでダイオキシン類や塩化水素、硫酸酸化物を低減できます。



誘引送風機
燃焼を安定的に行うため焼却炉内の圧力を負圧に維持するための設備です。排ガスを煙突まで送風しています。



触媒脱硝塔
集じん装置を通過した排ガスをさらに処理する設備です。蜂の巣状の触媒が3層に設置されており、この触媒を通過させることでダイオキシン類や窒素酸化物の分解除去が可能となっています。



中央操作室
焼却施設の運営に関する全てのデータを集中管理する場所です。焼却炉の監視のほか、クレーンの操作を行っています。

全連続燃焼式流動床炉

流動床炉は、焼却炉に敷き詰めた砂を熱し、さらに焼却炉下部から燃焼用空気を送り込むことで砂を旋回、流動させ、その中にごみを投入することで完全燃焼させる炉方式です。旋回、流動している砂は約600℃の高温なので、ごみを効率よく燃焼させることが可能です。また、ごみに混入している不燃物類は、砂の旋回により炉床両端の排出口に寄せ集められ取り出されます。

